

セミナー報告



第1回品質工学の基礎と事例学習セミナー報告

セミナー企画委員会

1. セミナーの概要

2016年6月3日(金)、第1回品質工学の基礎と事例学習セミナーが品質工学会事務所で開催された。参加者は当初の定員15名を超える18名の参加があり、会場は満員の状況であった。

このセミナーは田口玄一博士が著した論文を教材として品質工学の基礎となる考え方を学び、併せて学会賞受賞事例を読み解くことで、品質工学の実践的な知見を得ることを目指したものである。今回はパラメータ設計で4つのセッションが企画された。それぞれのセッションで議論の時間が設けられたが、少人数によることと講師の解説の工夫により、話題が尽きず盛況であった。アンケートでも「講師に質問しやすかった」、「講師の体験に基づく解説で迫力がある」などのご意見を頂いた。

また、今回は講師が知識を伝達するという一方向ではなく、参加者との双方向コミュニケーションによって品質工学の理解を深める新しいセミナーの形が模索された。その一環として、テキストを事前に受講者へ送付し、田口博士の論文を読み、それに対する質問の提出をお願いした。提出された質問に対して、セミナー当日に講師が直接解説を行った。この試みは受講者のアンケートでは総じて好評であった。幾つかの良い質問については、学会誌の品質工学入門者向け解説欄「QEアラカルト」への掲載を検討している。

このような有意義なセミナーが開催できたことに対して、参加者の方々、本企画・運営に関わった関係者および講師の方々に感謝する。今後は、さらなる内容のブラッシュアップを図り、第2回の開催を目指したい。

以下、参考として当日のプログラムを記載する。

- 13:00 事前宿題解説+回収した課題への回答 東京電機大学 中島建夫
- 14:00 セッション-1 品質から機能 Hamada Quality Solution 浜田和孝
- 14:50 セッション-2 製品開発から技術開発 コニカミノルタ(株) 田村希志臣
- 15:40 休憩
- 16:00 セッション-3 シミュレーションによるロバスト設計 コニカミノルタ(株) 近藤芳昭
- 16:50 セッション-4 技術開発のマネジメント エスケー石鹸(株) 安藤欣隆
- 17:40 まとめ
(18:00終了)

2. 各セッション

2.1 事前宿題と解説(中島建夫)

品質工学を深く理解するためには、田口玄一の考えを理解することが必須である。そのためには田口の論説を読むことが一番である。しかし、田口の論説を原著で読んでない人は多い。また、読んだ人もどこまで理解できたのか疑問なときがある。古典は何回読んでも、そのたびに新しい発見があるという。田口の論説も同じである。読んだことのある人も、読んだときのレベルに応じた新たな発見と疑問がある。

今回のセミナーの狙いは田口玄一の理解である。講師が論説を一方的に解説するのではなく、参加者に読んでもらい、質問を出してもらい、それに答える形で解説を進めることにした。理解を深めるには